市町老連会長研修会

「今求められる老人クラブ活動とは」について積極的な意見交換実施

7月7日及び8日の両日、シーサイドホテル舞子ビラ神戸において、市町老連会長研修会を開催し、各市町老連の会長ほか36名が参加しました。

1日目は、県老連の事務局長から「県老連財務改革の方向性（案）」と題する課題提起を行い、また、「高齢者の集い」における老人クラブ活動事例発表に向け、加古川市老連の西千歳氏の「どないや訪問」（友愛訪問）と西脇市老連の吉田明生氏から「コロナの時代にあっての老人クラブ活動」についての事例発表が行われました。

午後からは「今求められる老人クラブ活動とは」をテーマに、会長さんたちが8つのグループに分かれ、それぞれの取り組みや意見交換などを行い、その後の全体会で発表を行いました。

2日目は、恒例の「いきいきクラブ体操」でスタートし、ニュースポーツの「ボッチャ」の実習を行った後、健康運動指導士の田口たえ子先生より、「コロナに負けない心と身体」と題する講演と実習を行いました。

女性・若手リーダー研修会

新しい仲間をつくるための取り組みを探ろう！

7月から8月にかけて、令和3年度の市町老人クラブ連合会女性・若手リーダー研修会を、県下の拡大4ブロックで開催しました。

この研修会は、市町の女性・若手リーダーを対象として、人財養成コーディネーターの浅見真一氏の指導の下、参加者全員参加によるパネルディスカッション方式により、「今後の老人クラブのあり方」を考えるとともに、「新たな会員獲得に向けた実効性ある取組方策等」について議論を深めました。

また、併せて、新型コロナウイルス感染症の影響により、老人クラブ活動が停滞することによる「うつ」の発症やフレイル、認知症の進行などの間接的な健康被害が大きな問題となっていることから、田口健康運動指導士から、シナプソロジーメソッドを活用した心と体の機能改善をご指導いただきました。

開催日程

- ◆7月13日　中播磨・西播磨ブロック　たつの市
- ◆7月16日　東播磨・北播磨・淡路ブロック　明石市
- ◆7月30日　阪神南・阪神北ブロック　尼崎市
- ◆8月6日　但馬・丹波ブロック　丹波市

県への予算要望

兵庫県に対し来年度予算要望を実施

兵庫県老連では令和3年9月9日、中村会長と副会長らが兵庫県健康福祉部の川北みゆき少子高齢局長に対し、令和4年度県予算について要望を実施しました。

要望は2点で、1点目は、齋藤新知事就任後も国庫補助事業及び県単独支援事業の補助金について、現状水準の確保及びさらなる充実を求めるものです。

2点目は、近年、会員の高齢化等により、老人クラブの会計処理、事業報告、補助金申請などの事務作業ができず、老人クラブ活動の継続が難しい場合、事務手続きに詳しい者が「事務お助け隊」として事務作業をサポートすることを求めるものです。